

# キャリアサポーター だより

【第6号】 令和2年(2020年)9月17日 発行  
 県立川崎高等学校 キャリア支援グループ キャリアサポーター 川勾秀彦



いよいよ大学入試がスタート！

【緊急発行】大学志望者は必ず読むこと！

## 共通テスト出願開始！ 校内締切間近！

卒業後の進路に大学進学を志望している人も多いことでしょう。毎年、大学入試は「共通テスト(昨年までセンター試験)」の出願とともに始まると言われていきます。共通テストって何？ 私は受験する必要があるの？ なぜ今ごろ出願なの？ 受験生の質問あるあるを考えていきましょう。また卒年次生だけでなく、ぜひ1・2年次生にも見てほしい内容です。



センター試験(今年から共通テスト)のイメージです。試験会場は近くの大学などを指定されます。他校のライバルたちと一緒に受験するのです。

### 大学入学共通テストについて知ろう！

#### Q 1 共通テストって何？

名称や内容は少しずつ変わってはいるが、毎年1月中旬に実施される大学志望者が同じ問題に挑戦する「共通の試験」のこと。昨年は全国で約50万人が受験しています。

#### Q 2 1月の試験なのに、なぜ今ごろ出願なの？

現役生、つまり卒年次生(3年生)の出願は、高校ごとに出願すると決まっています。この締切が毎年この時期です。直前に受験したいと思ってもいっさい出願はできません。

#### Q 3 共通テストって国公立大学志望者が受験するものではないの？

共通テストは国公立大志望者だけでなく「私立大学志望者」も必要な人が数多く受験しています。

#### Q 4 私立大学志望者の必要な人ってどういう人なの？

多くの大学で一般選抜では、実は「3回の受験チャンス」があります。

いっばんせんぱつ 一般選抜	学部別方式	学部別に入試日や問題を設定される普通の入試
	全学部方式	大学の全ての学部が同じ日に同じ試験を行う入試
	共通テスト利用方式	共通テストの結果で合否を決める入試

↑大学によって呼び名が違います。  
この共通テスト利用方式の受験をする人が必要な人です。

#### Q 5 共通テスト利用入試ってよく意味がわからないんだけど？

いい質問ですね～！  
→2ページに続きます。まだまだ大切な情報があります！

→ 1 ページから続きです。さらに大切な情報をどうぞ！

**Q 5** 共通テスト利用入試ってよく意味がわからないんだけど？

共通テスト利用入試は受験する大学に受験に行く必要がありません。  
出願するだけで、共通テストの結果が大学に伝えられて、合否結果が送られてきます。  
つまり共通テストを受験するだけで複数の大学に出願することができるので、  
「合格のチャンスを広げる」ために利用する受験生が多いのです。

**Q 6** 共通テストって5教科受験するから大変じゃないの？

共通テストで「5教科受験が必要なのは原則として国公立大学志望者」です。  
私立大学の共通テスト利用型入試は「3教科型」または「2教科型」が多いです。  
あとから出願後に受験科目を変更することはできないので、よく調べておきましょう。

**Q 7** 推薦型、総合選抜型を受験するから共通テストの受験は関係ないよね？

関係あります。今年の入試から推薦型(指定校制・公募制)、総合型選抜も  
試験内容に「学力を問う試験」が必ずあるはず。小論文試験の大学も多いのですが、  
推薦型(指定校制・公募制)、総合型選抜で共通テスト受験を義務づけている大学もあります。  
志望している大学が共通テストを受験する必要があるかどうか、必ず調べてください。  
あとから気づいて受験しようとしても出願は一切できません。  
また推薦型(指定校制・公募制)、総合型選抜に合格できず、一般選抜を受験することも  
大いに考えられます。大学志望する人は必ず受験をするかどうか考えてください。

**Q 8** 結局、受験の必要がなくなったらキャンセルできるの？

受験料の返金をとまなうキャンセルはできません。  
すでに進路が決定した人にとっても、3～4年間の学習の成果を知る機会として  
受験するとよいのではないのでしょうか。

**Q 9** うーん、まだよくわからないし、受験するかどうか迷っているんだけど？

校内締切は9月23日(水)です。  
すぐに担任の先生、キャリア支援グループの先生、キャリアサポーターに相談してください。

これからの進路選択は、進学・就職ともにみなさんが1人1人  
自分から行動していく「行動力」が大切です。クラスのみんな  
が、だいたい一緒に動き、先生が一齐に指示してくれた高校受験  
とは、ここが違うところ。でも、卒業後の進路選択は、誰もが  
初めてのこと。わからないことばかりでいいのです！

「わからないことは遠慮しないでどんどん聞いていく」これが一番大切なことなのです。

